



府六だより

府中市立府中第六小学校

6月号

令和6年5月30日

(児童数 719名)

校長 小林 邦子

自らの生活を見つめ、温かな関わりを築くふれあい月間

校長 小林 邦子

5月18日(土)の六小スポーツフェスタには、大勢の保護者、地域の皆様が子供たちに温かい声援を送ってくださり、運営にご協力いただきまして、ありがとうございました。テントやくい打ち、受付、後片付けなど早朝からご尽力いただいたPTAやおやじの会、府中第五中学校のボランティアの皆様をはじめ、全ての方々に厚く御礼申し上げます。

5・6年生は、天候の関係で会場での練習は前日のリハーサルのみ、他の学年もリハーサルともう1回だけの練習でしたが、子供たちの創作や掛け声、衣装や太鼓の演出など、その学年らしいみんなで創り上げた表現に胸がいっぱいになりました。50メートル走や80メートル走でも、一人一人が自分の力を精一杯発揮し、すべての係がしっかりと役割を果たしていました。会場全体を盛り上げた応援、6年生の表現のアンコールで広がった踊りの輪、みんなで創った六小スポーツフェスタを宝物の一つにして、これからも互いに絆を深め、楽しい学校をつくっていきたいと思います。

さて、6月は子供たちが自らの生活を見つめ、いじめや暴力のない温かな関わりを築いていくふれあい月間です。私たちの日常には、ゲームやテレビ、ネットなど、受けをねらった言葉や、かっこよさを気取った心無い言葉があふれています。深く考えずにそうした言葉を使ったり、誰かが言った言葉を鵜呑みにしたりして、人の心を傷つけることがないように、相手の立場に立って考え、行動することを一層指導します。また、いじめ防止授業に取り組むとともに、子供たちの不安や困りごとを児童アンケートで確認し、早期解決を図ります。

6月10日(月)からのオアシス週間では、「おはよう」「ありがとう」「すつれいします」「すみません」など、心のこもったあいさつを心がけさせるとともに、心が痛くなるチクチク言葉でなく、心わふわ言葉を使うように意識させます。互いの話を聞いてみると誤解が解け、「何だ、そうだったのか」と思うようなことがトラブルの原因だったりして、すぐに仲直りできることがあります。お子さんの様子で気になることがありましたら、ゆっくりお話を聞いていただき、「もしかすると〇〇だったかもしれないよ」「もう一度〇〇してみたら」など、お子さんの見方・考え方が広がるような声掛けをしていただくとともに、教員に相談するよう促していただけたらと思います。

今月も、大切にかけがえのないお子様をお預かりしていることを肝に銘じ、一人一人が心豊かに楽しく学校生活を送ることができるよう、教育活動を進めてまいります。

〔ちょっといい話〕



南昇降口に入ってすぐの正面の壁に、高野 律夫 府中市長様から令和6年4月20日付けで、本校PTAに授与された交通安全指導と交通安全教育の推進に関する感謝状を飾っています。ご来校の際にご覧いただき、引き続き子供たちの安全を見守っていただけたらと思います。

また、中学年くらいの女子7・8名が、府中の森公園の遊具でうまく遊べないでいた小さなお子さんに遊具の使い方をやさしく教え、周りの子供たちにも配慮を呼び掛けてくれてとても嬉しかったと、地域の方からお電話をいただきました。本校の子供たちが、学校の内外で優しく行動している姿をととても嬉しく思っています。